



祭りには、村と交流を深めている国際ボランティア学生協会（IVUSA）の大学生30人が参加。前日から巨大どもんこづくりなどの準備を手伝ってくれました。



お待ちかねの

# 巨大どもんこが出現

今年で五回目「おおいし・どもんこ祭り」

二月十三日、大石ダム湖畔  
県民休養地を会場に「おおい  
し・どもんこ祭り」が盛大に  
開催されました。  
祭りは、雪遊びを満喫して  
冬の魅力を発見してもらおう  
と、大石・山と川に親しむ会

（高橋八男代表）などの主催  
で毎年行われているもの。  
今年も積雪も十分で、祭り  
の「巨大どもんこ」も立派に  
完成し、村内外から訪れた約  
四百人の方を迎えました。

祭りでは、参加者がどもんこづくりや懐かしい竹スキーを体験。また、スノーモービルでの雪上滑走やスノーシューを履いて山の達人が案内する雪山探索など、雪ならではの遊びを楽しみました。そのほか、夜はロウソクを使った幻想的なライトアップも行われ、訪れた方は雪国の魅力を満喫していました。  
村上市から家族で訪れていた二ノ瀬愛桜さん（五歳）は「友だちとそりや雪合戦をしたりして、とても楽しかったです」と、雪遊びに夢中のようでした。

## 明るい村づくりに

東北電力㈱から  
街路灯寄贈

二月十六日、東北電力㈱村上営業所の安藤裕所長から村に、蛍光街路灯二十四灯を寄贈いただきました。

街路灯は、社会貢献活動の一環として、交通事故や犯罪のない明るい街づくりに協力しようとして、昭和四十年から同社が毎年市町村に贈っているもの。安藤所長は「地域の交通安全や防犯など、明るく安全な村づくりに役立ててください。」と、平田大六村長に目録を手渡しました。



「さい」と、平田大六村長に目録を手渡しました。寄贈いただいた街路灯は、通学路灯などとして活用する予定です。



## オニ退治のあとはお楽しみ

2月3日、村内の保育園で節分の豆まきが行われました。

下関保育園では、自分で書いたオニの面をかぶり、お家の人と考えてきた心の中の悪いオニを一人ずつ発表。「オニは～外、福は～内」と、元気よくオニを追い出しました。また、悪いオニを追い出した後はお楽しみ…。豆と一緒にまいた甘いチョコレートをいただきました。